

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
英語会話 English Conversation		全学科	1年次	通年
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
演習	2	必修		
概要				
<p>(概要)2020年東京オリンピック・パラリンピックを目前に控え、海外に出るだけでなく海外から人々を迎え入れる準備をしなければならない。本科目では、海外から来る人々をどのように「もてなす」か、実践的なコミュニケーション活動を通して様々な語彙や表現を学びながら、コミュニケーション能力の養成を目指す。なお、聞く・話すだけでなく、読む・書く活動もコミュニケーションの一部として扱う。</p> <p>(目標)航空産業、テーマパーク産業、ホテル産業において使用されている語彙や表現を使用できる、顧客から求められる様々な要望に対し対応できる、様々なシチュエーションで行われる会話や読み物の内容を理解できる。</p>				
到達目標				
<p>(1) 様々な産業で使用される語彙や表現を理解し、使用できる。</p> <p>(2) 英語を読む力を向上させることができる。</p> <p>(3) 人を「おもてなす」際に使用する表現を使用できる。</p>				
授業内容とすすめ方				
<p>【前期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction 2. Unit 1 接客とコミュニケーション① 3. Unit 1 接客とコミュニケーション② 4. Unit 2 機内サービス① 5. Unit 2 機内サービス② 6. Unit 3 LCCとFSC① 7. Unit 3 LCCとFSC②、前半の振り返り 8. 中間テスト 9. Unit 4 面接重視の航空業界① 10. Unit 4 面接重視の航空業界② 11. Unit 5 チケット販売① 12. Unit 5 チケット販売② 13. Unit 6 アトラクション① 14. Unit 6 アトラクション② 15. 後半の振り返り、期末テスト 		<p>【後期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Review 2. Unit 7 トラブル発生① 3. Unit 7 トラブル発生② 4. Unit 8 業界の先輩メッセージ① 5. Unit 8 業界の先輩メッセージ② 6. Unit 9 ホテル業務内容① 7. Unit 9 ホテル業務内容②、前半の振り返り 8. 中間テスト 9. Unit 10 料飲部門(F&B)① 10. Unit 10 料飲部門(F&B)② 11. Unit 11 トラブル発生① 12. Unit 11 トラブル発生② 13. Unit 12 ホテル業界就職活動編① 14. Unit 12 ホテル業界就職活動編② 15. 後半の振り返り、期末テスト 		
テキストおよび 参 考 文 献	Hospitality Communication 仁科恭徳 他 三修社			
メ ッ セ ー ジ な	楽しい授業を心がけたいと思いますので、学生の皆さんのご協力をお願いします！			

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 様々な産業で使用される語彙や表現を理解し、使用できる。	ほぼ完璧に理解し、使用できる。	語彙や表現の理解に大きな誤りはなく、使用できる。	語彙や表現の理解や使用にいくつか誤りがあるが、最低限できる。	理解や使用ができない。	定期試験 (関心・意欲・知識・理解・表現力・判断力・思考力)	30%
(2) 英語を読む力を向上させることができる。	ほぼ完璧に向上させることができる。	大きな誤りはなく、向上させることができる。	いくつか誤りがあるが、最低限の水準で向上できる。	向上させることができない。		30%
(3) 人を「おもてなす」際に使用する表現を使用できる。	ほぼ完璧に使用できる。	大きな誤りはなく、使用できる。	いくつか誤りがあるが、最低限の表現を使用できる。	使用することができない。		40%